

大牟田市スポーツ推進計画（概要版）



©2016 omuta city jabow



大牟田市

計画策定の趣旨

本市は平成2年（1990年）7月にスポーツ都市を宣言し、この宣言に掲げる目標の達成に向け、市民がいつでも、どこでも、誰もが気軽に生涯にわたってスポーツに親しむことができるよう、スポーツの機会づくり、支援の仕組みづくり、楽しめる環境づくりを推進することや、スポーツを通して人と人の絆が深まり活力ある都市づくりを目指して、平成23年（2011年）3月に大牟田市スポーツ振興計画を策定し、様々な施策を展開してきました。

現計画における当初の計画期間は10年（令和3年3月まで）でしたが、令和5年度中に整備予定の総合体育館の活用の方角性との整合を図るために、新計画の策定を2年延期し、スポーツ基本法第10条に規定されている地域スポーツ推進計画となる「大牟田市スポーツ推進計画」を策定しました。

計画期間

令和5年度から14年度までの10年間とし、計画策定から5年を目処に、取組みの中間評価を行います。また、国や福岡県の動向や社会情勢の変化等により、必要に応じて計画の見直しを行います。

計画の基本理念

『スポーツで人と人との絆をつくり、健康で活気あふれる都市づくり おおむた』

計画の目標及び成果指標

目標1 誰もがどこでも気軽に親しめるスポーツ活動の機会づくり

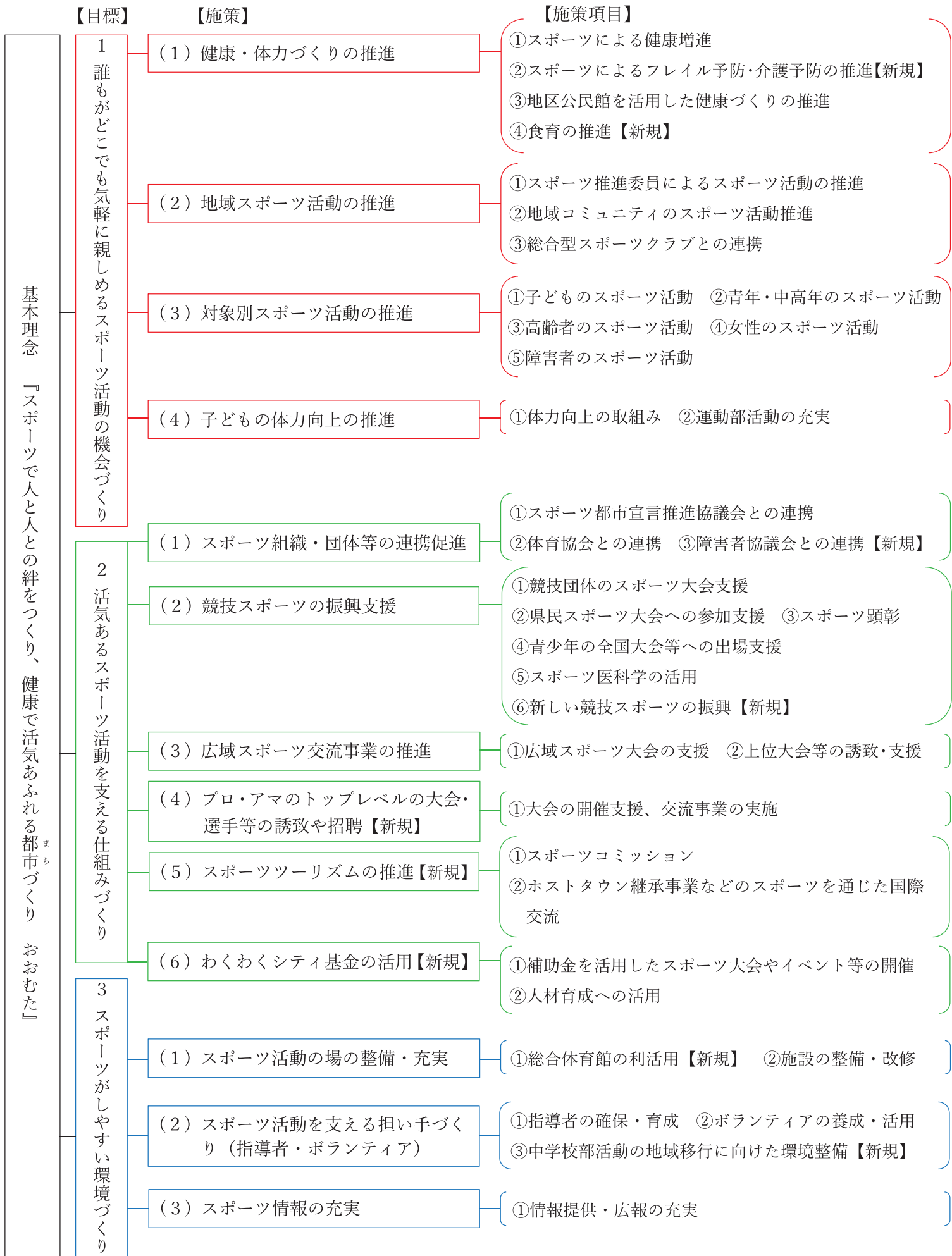
成 果 指 標	基準値	目標値
週1回以上運動・スポーツを行っている市民の割合	46.3%	70%
児童生徒の運動・スポーツが好きという割合	53.1%	全国平均以上
障害者を対象としたスポーツイベントへの参加者	459人	560人以上

目標2 活気あるスポーツ活動を支える仕組みづくり

成 果 指 標	基準値	目標値
広域スポーツ大会の開催	13大会	20大会以上
県民スポーツ大会の総合成績順位	6位	5位以内

目標3 スポーツがしやすい環境づくり

成 果 指 標	基準値	目標値
公共スポーツ施設の利用者数	33万8千人	年間35万人以上
学校体育施設の利用者数	20万8千人	年間21万人以上



目標 1 誰もがどこでも気軽に親しめるスポーツ活動の機会づくり



目指す姿

★誰もが生涯にわたりスポーツに親しみ楽しむことができる。

(1) 健康・体力づくりの推進

①スポーツによる健康増進

②スポーツによるフレイル予防・介護予防の推進【新規】

・庁内の関係部局と連携し、フレイル予防の効果が期待できるグループでの継続的なスポーツ活動の実践を支援します。

・フレイルの要因の一つに、筋力低下があります。筋力を維持・強化する運動についての啓発や、医療・介護などの分野と連携した事業の実践により、活動機会の増加に努めます。

③地区公民館を活用した健康づくりの推進

④食育の推進【新規】

・不規則な食事や栄養の偏り、運動不足などにより、肥満や生活習慣病などの様々な問題が生じています。生涯にわたって健全な心身を培うために、庁内の関係部局と連携し、適度な運動や食の大切さについての理解を促進します。

・また、フレイルを予防するためにも、日々の食事を通じて良好な栄養状態を保つことが重要なことから、その普及啓発に努めます。

(2) 地域スポーツ活動の推進

①スポーツ推進委員によるスポーツ活動の推進

②地域コミュニティのスポーツ活動推進

③総合型地域スポーツクラブとの連携



(3) 対象別スポーツ活動の推進

①子どものスポーツ活動

②青年・中高年のスポーツ活動

③高齢者のスポーツ活動

④女性のスポーツ活動

⑤障害者のスポーツ活動



(4) 子どもの体力向上の推進

①体力向上の取組み

②運動部活動の充実



目指す姿

★スポーツ活動を支える基盤が充実している。

(1) スポーツ組織・団体等の連携促進

- ①スポーツ都市宣言推進協議会との連携
- ②体育協会との連携
- ③障害者協議会との連携【新規】

・大牟田市障害者協議会は、障害者スポーツへの理解とその普及、促進に取り組んでいます。障害者スポーツを推進するにあたっては、専門的な知識と経験を有する障害者協議会と緊密な連携を図りながら取り組みます。

(2) 競技スポーツの振興支援

- ①競技団体のスポーツ大会支援
- ②県民スポーツ大会への参加支援
- ③スポーツ顕彰
- ④青少年の全国大会等への出場支援
- ⑤スポーツ医科学の活用
- ⑥新しい競技スポーツの振興【新規】



・オリンピック競技大会などを契機に人気が高まる、スケートボードなどの新しい競技スポーツの振興に向け、その競技に触れるためのイベント・教室等の開催や、活動するための環境整備の検討などを通じて、普及を図ります。

(3) 広域スポーツ交流事業の推進

- ①広域スポーツ大会の支援
- ②上位大会等の誘致・支援



(4) プロ・アマのトップレベルの大会・選手等の誘致や招聘【新規】

- ①大会の開催支援、交流事業の実施

・トップレベルの大会の開催支援や、スポーツ教室などを通じた市民と選手等との交流事業に取り組みます。

(5) スポーツツーリズムの推進【新規】

- ①スポーツコミッション

・スポーツ大会やイベント、合宿の誘致、スポーツを通じた交流促進等による地域活性化と市外からの誘客を目指し、地域におけるスポーツ振興、スポーツツーリズム推進のために、各種団体等が連携・協働して取り組みます。

- ②ホストタウン継承事業などのスポーツを通じた国際交流

・ジョージア柔道チームとの交流として、日本国内での大会における事前合宿の誘致や大牟田高等学校柔道部との合同練習、小・中学生との柔道教室などを開催します。また、駐日ジョージア大使館及び在ジョージア日本国大使館と連携し、交流事業等に取り組みます。

- ・アフガニスタンとの交流については、市内の小・中学校などで、故中村哲医師の功績について学ぶ授業などにより、ホストタウンのレガシー継承に取り組みます。
- ・また、国際的な視野と資質を持った青少年の健全育成を図るため、スポーツを通じた国際交流を推進します。

(6) わくわくシティ基金の活用【新規】

①補助金を活用したスポーツ大会やイベント等の開催

- ・わくわくシティ基金事業費補助金の交付制度を広く周知し、各種スポーツ大会やイベント等の開催に活用してもらうことで、青少年のスポーツ振興を図ります。

②人材育成への活用

- ・スポーツを通じた青少年の人材育成を図るため、わくわくシティ基金を活用した取組みを検討します。

目標3 スポーツがしやすい環境づくり



目指す姿

★市民が身近なところでいつでも気軽にスポーツ活動に参加できる。

(1) スポーツ活動の場の整備・充実

①総合体育館の利活用【新規】

- ・令和6年4月オープン予定の、新しい体育館については、延命公園と一体となって、子どもから高齢者まで、誰もが気軽に利用しやすい環境を整えます。また、健康づくり、体力づくりの拠点、さらには災害時の防災拠点としての機能を充実することによって、スポーツや運動を通じてひとを健康に、まちを元気にする緑に囲まれた施設を目指します。

- ・トップレベルの競技会や、各種スポーツ大会・教室等が効果的で効率的に開催できる施設運営に努めます。

- ・障害者が気軽にスポーツに親しみ、楽しみながら参加できる教室や体験会等の実施や様々な情報を提供することにより、障害者スポーツの理解を深めるとともに普及拡大を図ります。

- ・障害のある人が安心してスポーツを楽しめるよう、障害者スポーツ用品の充実を図ります。

②施設の整備・改修

(2) スポーツ活動を支える担い手づくり（指導者・ボランティア）

①指導者の確保・育成

②ボランティアの養成・活用

③中学校部活動の地域移行に向けた環境整備【新規】

- ・スポーツ庁がまとめた「運動部活動の地域移行に関する検討会議の提言」を受けて、体育協会や総合型地域スポーツクラブなどの関連機関等と連携をしながら、学校の実態を踏まえて段階的に運動部活動の地域移行を進めます。



(3) スポーツ情報の充実

①情報提供・広報の充実



大牟田市スポーツ推進計画(概要版)

令和5年3月

発行:大牟田市市民協働部スポーツ推進室

〒836-0872

福岡県大牟田市黄金町1丁目34番地
(生涯学習支援センター1階)

TEL:0944-53-1503

FAX:0944-41-2210

スポーツ都市宣言

平成2年7月6日制定

私たち大牟田市民は、生涯にわたってスポーツに親しみ、
スポーツを通してすみよいまちづくりをめざし、
ここにスポーツ都市を宣言します。

- 1 スポーツに親しみ、健康なからだをつくりましょう。
- 1 スポーツを楽しみ、明るい生活をおくりましょう。
- 1 スポーツを愛し、友情とふれあいの輪を広げましょう。
- 1 スポーツを通して、活気ある豊かな大牟田市をつくりましょう。

大 牟 田 市

令和5年3月

大牟田市市民協働部スポーツ推進室